第13回 プログラミング応用レポート

15302114番 山下尚人

提出日:20年2月1日

課題

• 実行結果 size を 20 にして実行した結果、以下のような実行結果が得られた。

Listing 1 size が 20 での実行結果

また、size を $5000\sim30000$ まで 1000 刻みで変更して実行した結果、次のようなグラフになった。図 1 は size と swap が呼び出された回数、図 2 は size と実行にかかった時間のグラフ。 random average(赤線) は初期配列をバラバラにして、同じ size で 10 回実行した平均の値。 worst(青線) は初期配列を降順にした場合の、実行した値を使用している。

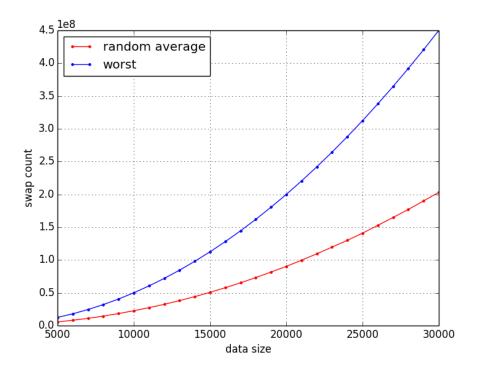


図 1 size と swap が呼び出された回数

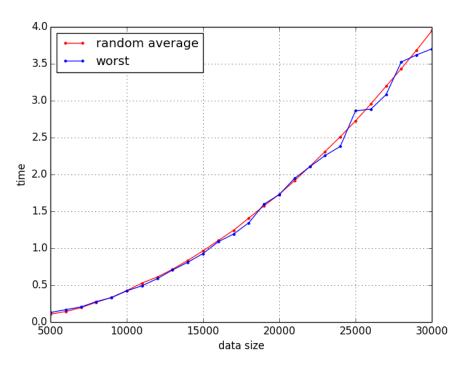


図 2 size と実行にかかった時間